

令和 8 年度  
施 政 方 針

令和 8 年第 2 回（3 月）  
市議会定例会

諫 早 市

本日ここに、令和8年第2回諫早市議会定例会を招集しましたところ、議員の皆様には御健勝にて御出席を賜り、厚く御礼申し上げます。

今期定例会に提案しております令和8年度当初予算案をはじめ、諸議案の御審議に先立ち、私の市政運営への所信を申し述べさせていただきます。

2月8日の衆議院議員選挙長崎2区では、前職の加藤竜祥氏が当選され、同日に行われた長崎県知事選挙では、前副知事で国土交通省や復興庁の要職を歴任された平田研氏が当選されました。

心からお祝い申し上げますとともに、県勢の発展に御尽力されますことを期待するところであります。

18日に召集された特別国会では、第2次高市内閣が発足し、引き続き「責任ある積極財政」が掲げられ、成長分野へ更なる投資を行う方針などが示され、19日には加藤竜祥氏が引き続き国土交通大臣政務官に任命されております。

本市としましては、今後審議される令和8年度予算の編成動向を注視しながら、重要課題である、九州新幹線西九州ルート of 全線フル規格化、新しい都市計画の実現、交通基盤の整備促進など、加藤国土交通大臣政務官や国土交通省出身の新知事とより緊密に連携を図り、市政運営に邁進する所存であります。

本市のこれから10年の方向性を定める「第3次諫早市総合計画」につきましては、社会や経済の状況、市民や事業所へのアンケート結果などを踏まえ、昨年6月以降、総合計画審議会において9か月にわたり熱心な御議論を賜りました。

今回の総合計画は、高校生によるワークショップの実施や総合計画審議会の委員として大学生に参画していただくなど、これからの諫早を担う若者の意見を積極的に取り入れたものとなっており、2月6日に審議会からいただいた答申に基づく計画案を本議会に提出しております。

将来都市像につきましては、「来てよし、住んでよし、育ててよし！ 『輝く諫早 夢かなうまち』」と

しました。

本市の豊かな自然と都市機能が調和した優れた生活環境や子育て・教育の充実など暮らしのバランスの良さを「来てよし、住んでよし、育ててよし」として表すととともに、西九州新幹線の開業など、100年に一度の変革により大きく発展した諫早市が、県央地域で更に発展し「輝き」を放ち、「市民が愛着や誇りを持ち、誰もが未来へ希望を抱き、夢を実現していけるまちであり続けたい」という想いを、「輝く諫早 夢かなうまち」として表すものです。

10年後の目標人口につきましては、新たな産業団地の整備による雇用創出や新しい都市計画制度の運用による定住人口の拡大、子育て家庭の親に対する経済的な支援の拡充などにより人口減少に歯止めをかけ、概ね13万人を維持するとしております。

新たな将来都市像「輝く諫早 夢かなうまち」実現のため、チャレンジと連携の姿勢で様々な施策に取り組んでまいり所存でございますので、皆様の御理解と御協力を心からお願い申し上げます。

国際社会に目を転じますと、ロシアとウクライナの紛争が長期化する中、年明け早々アメリカがベネズエラへ攻撃を行うなど国際情勢は混沌としております。

国内においては、円安による資材の高騰、外国人労働者による労働力の確保、インバウンドの増加によるオーバーツーリズムなど、地方自治体においても変化する国際情勢への対応や多文化共生が重要な課題となっております。

本市においても、労働力不足は喫緊の課題であり、今後は外国人も含めた人材確保が重要であると考え、昨年はラオス人民民主共和国を訪問し、政府機関や人材派遣機関と意見交換を行いました。

本市では、これまで市民の国際化促進を目的とし、いさはや国際交流センターへの支援をはじめ、アメリカ・テネシー州のアセンズ市、中国漳州市との交流を続けており、本年はアセンズ市と姉妹都市となり40周年、漳州市と友好都市となり35周年の節目の年になります。

この節目の年に、両市を訪問し、市民レベルでの相互交流を検討するとともに、成長著しいASEAN諸

国の情報収集を行うなど、本格的に国際社会への対応を行ってまいりたいと考えております。

子育て支援につきましては、「子育て支援3本の矢」として、小・中学生の福祉医療費の現物給付化、同時在園の第2子保育料の無償化、県内で先駆けて実施した市立小・中学校の給食費無償化を実現してまいりました。

今後も人口減少に歯止めをかけるため、更なる子育て支援の充実を図ってまいりたいと考え、その第1弾として、現在償還払い方式で実施している高校生世代の福祉医療費について、令和8年10月診療分から現物給付方式を導入するための予算を今期定例会に提出しております。

県内初の日本陸上競技連盟公認フルマラソン大会となる、音楽と融合した国内初の本格的なマラソンイベント「長崎ミュージックフェスマラソン」につきましては、令和9年1月31日開催に向け着実に準備を進めております。

本大会は1万人規模の参加者を見込んでおり、国内外から多くのランナーや関係者の参加による交流人口拡大が期待されます。

去る1月25日、大会開催1年前イベントとして、フルマラソンコースを活用した「第6回諫早・雲仙ウルトラウォーキング」が開催されました。

この大会はフルマラソンの開催を目的に実施され、今回でファイナルとなりましたが、これまで醸成されてきた機運を、しっかりと「長崎ミュージックフェスマラソン」へつないでまいります。

地域の皆様とともに、県全域を巻き込んだおもてなしや盛り上がるグローバルイベントを実施し、長崎県を代表する「みんなでつくるみんなの大会」を創り上げたいと考えております。

大会を通じて、開催地の魅力を全国のみならず世界へ発信し、市民が誇りを感じ、継続的に選ばれる大会を目指してまいります。

それでは、令和8年度の具体的な施策の大綱について、本議会で提案させていただいております総合計画

案の体系に沿って御説明申し上げます。

## 第1 チャレンジできるまち

### 【妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援】

「すくすく広場」の1階に整備している新たな区画は、乳幼児期の発達の特性を理解し、健やかな成長について学ぶ研修スペースや親子が交流し遊べる子育て支援施設で、5月の供用開始を予定しております。

新たな施設は、発達支援のさらなる充実・強化が図られ、中心市街地の賑わい創出につながるものと期待しております。

また、養育環境に関して課題を抱える児童に対し、安全・安心な居場所を提供し、基本的な生活習慣の形成や学習サポート、進路相談、食事の提供など、個々の児童の状況に応じた支援を行う「児童育成支援拠点事業」を実施し、子どもの健全な育成を図ってまいります。

### 【市民協働の諫早プロモーション】

都市部から生活拠点を移し、地域協力活動を行いな

がら定住促進を図る「地域おこし協力隊」につきましては、現在、支所地域を活動拠点として5名の隊員がそれぞれの視点や発想を活かし、魅力発信や地域活性化に取り組んでおります。

令和8年度は、子育て支援や農林水産業などの分野で取り組む新たな隊員を採用し、地域活性化を図るとともに、諫早の充実した子育て環境、豊かな自然や多様な農林水産物など、地域おこし協力隊の発信力で本市の魅力を全国にPRしたいと考えております。

#### 【魅力的な都市（まち）づくりの推進】

諫早市の新しい都市計画につきましては、基礎調査結果に基づく課題などの整理を行い、長崎県と共に国土交通省九州地方整備局及び農林水産省九州農政局に、本市の状況説明を行い、現在、区域区分廃止後の具体的な制度設計の検討を進めております。

今後も引き続き、関係機関との協議・調整や合意形成を図りながら、令和9年度中の政策実現を目指し、力強く推し進めてまいります。

本市は、大企業の進出など発展の好機にあり、これ

まで取り組んできた40戸連たん制度の運用などによる住宅地の供給は一定の効果が現れ、令和3年から4年連続で転入者が転出者を上回る社会増を達成しております。

市では住宅地に関する規制緩和のほか、地域の皆様の生活利便性の向上を目的として、18の幹線道路沿いを「沿道業務区域」に指定し、店舗や飲食店などの建築を可能とする規制緩和を行っております。

本年1月には「諫早市開発行為等の許可の基準に関する条例施行規則」の改正を行い、市道天満目代線や市道川内小野島線など、6つの市道を「沿道業務区域」に新たに追加し、現行制度の中で更なる規制緩和を行っております。

今後も定住人口拡大や地域活性化につながる規制緩和に、引き続き取り組んでまいりたいと考えております。

## 第2 産業が活力を生み出すまち

### 【特色ある農業の振興】

本市の基幹産業の一つである農業の振興につきますし

ては、担い手農家への農地集積による経営規模の拡大に大きな効果を発揮する農地の基盤整備事業を、正久寺地区、柳新田地区、長田東部地区で実施しており、引き続き整備促進に努めてまいります。

### 【循環型林業の推進】

林業の振興につきましては、森林の有する国土保全や水源涵養などの多面的機能の強化を図るため、森林資源の循環利用を推進し、広葉樹林や針葉樹林の植栽や間伐などを進めるとともに、ツクシシヤクナゲの保全など、市民に親しまれる魅力ある森林づくりを進めてまいります。

また、将来にわたって安定した林業が可能となるよう担い手の育成・確保に向けた支援を行い、林業労働力の安定確保を図ってまいります。

### 【3つの海が育てる水産業の振興】

水産業の振興につきましては、豊かな漁場の回復を図るための種苗放流や、魚介類の育成の場となる藻場や浅場等の保全活動の支援など、魅力的な漁業を創出

するため、陸上養殖や付加価値の高い水産物の産地化を推進してまいります。

また、活気のある海辺づくりを推進するため、引き続き関係団体と連携し新規漁業就業者の育成にも取り組み、漁村の活性化を図ってまいります。

### 第3 人を育む学びのまち

#### 【学びと夢を育てる学校教育の充実】

小長井地域では、本市で初めてとなる小中一貫教育を行う「義務教育学校」の令和10年4月開校に向け、準備を進めております。

令和7年度に校舎および屋内運動場の実施設計が完了することから、令和8年度に建設工事に着手することとしており、所要の予算案を今期定例会に提出しております。

併せて、校名に関する条例改正案についても、今期定例会に提出しております。

今後も教育委員会と連携を図りながら、魅力ある学校づくりに取り組んでまいります。

## 第4 誇りと賑わいのあるまち

### 【歴史と文化が息づくまちづくり】

諫早の文化財をどのように守り、活かしていくかを定めた「諫早市文化財保存活用地域計画」については、令和4年から3年間をかけ策定作業を進め、昨年7月に文化庁より正式に認定をいただき、令和11年度までの5か年計画として策定しました。

令和8年度は、本計画に基づき、文化財の更なる環境整備を進めるとともに、デジタルデータ化を図り、諫早市の文化財の魅力発信と、文化財を活用した交流人口拡大を推進してまいります。

### 【スポーツ・レクリエーションの振興】

昨年10月、「いさはやスポーツコミッション」を設立しました。

スポーツコミッションでは、市民の皆様に対し、様々なスポーツに「みる」や「ふれる」機会を提供することを目指しております。

これにより、スポーツを始める「きっかけ」やスポーツへの親しみを促進し、健康づくりや体力づくりの

推進につなげてまいります。

また、大規模なイベントを開催することで「いさはやスポーツコミッション」の認知度向上を図るとともに、大会や合宿の誘致、市民の健康増進への取組など、交流人口の拡大や地域の活性化に努めてまいります。

## 第5 持続可能なまち

### 【総合的な防災体制の強化】

国が実施している「本明川ダム建設事業」につきましては、現在、ダム本体に係る基礎掘削工事が行われており、令和14年度の完成に向け順調に進捗しております。

また、県が実施している「一般県道富川溪線拡幅工事」および当該路線の終点部に位置する「富川河川公園」の整備につきましても、令和8年度の完成を目標に進められております。

市としては、本明川ダムの早期完成に向け、引き続き国に対し積極的に要望を行い、ダム周辺地域の振興対策についても国や県と連携しながら、取り組んでまいりたいと考えております。

## 【暮らしと経済を支える交通基盤の整備】

高規格道路「島原道路」の小野町から長野町の区間につきましては、事業採択に向け概略ルートなどを検討する「計画段階評価」の手続きを国が進めております。

今後は、地元への意見聴取などを踏まえ、国が複数案を示す見込みと伺っており、市としては地域の実情を十分に反映し、早期に事業採択されるよう強く働きかけてまいります。

また、国道34号「大村諫早拡幅」や「有明海沿岸道路」の鹿島諫早間など、広域的な幹線道路網の整備は、物流・交流人口の拡大による地域経済の活性化や救急医療活動の支援、災害時の機能強化など、本市に大きな効果をもたらすものであり、引き続き関係団体と連携を深めながら、早期整備・早期事業化を国や県に対し、強く訴えてまいります。

## まちづくり計画の推進方策

### 【健全で効率的な行財政運営の推進】

本市では、「書かないワンストップ窓口」の導入な

ど、「諫早市DX推進計画」に基づき、デジタル技術の活用による市民サービスの向上や業務改善に取り組んでまいりました。

現計画は令和7年度で終期を迎えるため、次期計画の策定を進めております。

令和8年度は、デジタルツールの定着・利用拡大、デジタル人材の育成・確保を図るとともに、本庁舎の無線ネットワーク化を実施する予定としており、引き続きデジタル化の推進による行政の効率化に努めてまいります。

令和8年度の一般会計当初予算につきましては、「諫早市の新しい都市計画」の実現、子育て支援や教育環境の更なる充実、「長崎ミュージックフェスマラソン」の初開催など、市民が未来へ希望を抱き、夢が叶うまちとなるよう積極的に取り組む、輝く未来へ翔け出すチャレンジ予算として編成をしました。

一般会計の総額は703億2,000万円となり、前年度当初予算と比較して2.8パーセントの増となるほか、特別会計は国民健康保険事業会計など5つの

事業会計の合計で328億6,020万円を計上しております。

また、令和7年度の一般会計補正予算につきましては、家庭や自治会の省エネ家電購入支援をはじめとする物価高騰対策第2弾のほか、学校施設の防災機能強化や農産物集出荷の効率化支援など23億7,900万円を追加し、補正後の予算総額は792億1,100万円、前年度同期と比較して5.0パーセントの減となるものであります。

令和8年度は、京セラの操業開始や長崎ミュージックフェスマラソンの開催など、市勢発展に資する大きな事業が実現する年であります。

また、諫早駅周辺では、県の地方機関である長崎・県央・島原の各振興局を集約し、県南振興局として一元化するための庁舎建設が令和8年12月の完成に向け進められており、更なる定住人口や交流人口の拡大を図る絶好の機会となっております。

現在進めている新しい都市計画策定や新たな雇用創出につながる諫早平山産業団地の整備、市民の交流拠

点となる（仮称）市民交流センターの整備などを着実に推進するとともに、「子育て支援3本の矢」の拡充を図り、市民の皆様が夢をもち、その夢がかない、大きく羽ばたいていけるまちとなるよう、チャレンジと連携の姿勢で、全力で翔けて、翔けて、翔けてまいります。

議員各位並びに市民の皆様におかれましては、一層の御支援と御理解を賜りますようお願い申し上げます、私の市政運営についての所信とさせていただきます。

このほか、今期定例会に提出しております各議案につきましては、関係部局長より説明をさせますので、御了承を賜りたいと思います。

なお、追加議案として人事案件を予定しております。

よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。

御清聴ありがとうございました。